

| | | | |
|---|---|---|----------------------|
| 学期 / Semester | 2017年度 / Academic Year 3ク ォーター / Third Quarter | 曜日・校時 / Day・Period | 月 / Mon 3, 月 / Mon 4 |
| 開講期間 / Class period | 2017/09/29 ~ 2017/11/27 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択 / elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20170587036903 | 科目番号 / Subject code | 05870369 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | GEMB 12311_006 | | |
| 授業科目名 / Subject | 教育と文化 (教育相談) / Educational Counseling | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 田山 淳 / Tayama Jiyun, 加納 暁子 / Kanou Akiko, 西郷 達雄, 小川 さやか, BERNICK PETER JOHN / Bernick Peter John | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 田山 淳 / Tayama Jiyun | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 田山 淳 / Tayama Jiyun, 小川 さやか, BERNICK PETER JOHN / Bernick Peter John | | |
| 科目分類 / Class type | 全学モジュール 科目, 教職に関する科目 | | |
| 対象年次 / Year | 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | 教養教育B棟34 / RoomB-34 | | |
| 対象学生 (クラス等) / Object Student | 2年生 | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | jtayama nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください) | | |
| 担当教員研究室/Laboratory | | | |
| 担当教員TEL/Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives | 本授業では、教育相談の理論や歴史を中心とした基礎的知識を学習する。基礎的知識に加え、教育現場等で必要な相談に関する技法をいくつか学習する。 | | |
| 授業到達目標/Goal | 個々の児童・生徒の悩みに対応できる知識とスキルを身につける。 | | |
| 授業方法 (学習指導法) /Method | 講義形式 (一部実習形式) | | |
| 授業内容/Class outline/Con | <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育相談の歴史と意義 2. 学校における教育相談体制と相談の進め方 3. 児童・生徒の発達に応じた教育相談 4. 児童・生徒が抱える心の問題の種類 5. 心の問題を明らかにする方法 (1) 6. 心の問題を明らかにする方法 (2) 7. 来談者中心カウンセリングについて (1) 8. 来談者中心カウンセリングについて (2) 9. 行動療法・行動カウンセリングについて (1) 10. 行動療法・行動カウンセリングについて (2) 11. グループエンカウンターについて 12. 心理教育について 13. 保護者への教育相談 14. 各種関係機関との連携 15. 総括 16. テスト | | |
| 事前、事後学習の内容/Preparation & Review | | | |
| キーワード/Key word | 教育相談、来談者中心カウンセリング、行動療法・行動カウンセリング、長崎県の相談窓口 | | |
| 教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book | <p><教科書> ・授業内で配布するプリントを利用する。</p> <p><参考書> ・よくわかる教育相談 ?やわらかアカデミズム・わかるシリーズ?: 春日井 敏之 (編集), 伊藤 美奈子 (編集), ミネルヴァ書房, 2011 ・図で理解する生徒指導・教育相談: 佐々木 雄二 (著)・笠井仁 (著), 福村出版, 2010 ・教育相談・学校精神保健の基礎知識: 大芦 治 (著), ナカニシヤ出版, 2008 ・相談活動に生かせる15の心理技法: 「月刊学校教育相談」編集部 (編集), ほんの森出版, 2004 ・教育相談?教師教育テキストシリーズ?: 広木 克行 (編集), 学文社, 2008 ・教育相談の理論と実際?よりよい教育実践をめざして: 河村 茂雄, 図書文化社, 2012 ・教育相談入門 ?こころの科学叢書?: 高野久美子, 日本評論社, 2012</p> | | |
| 成績評価の方法・基準等/Evaluation | <ol style="list-style-type: none"> 1) 試験の結果30% 2) レポート・提出物40% 3) 出席および授業態度30% | | |
| 受講要件 (履修条件) /Requirements | | | |
| アクセシビリティ/Accessibility | <p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp</p> | | |
| 備考 (URL) /Remarks(URL) | 地域課題と関連して、長崎県・市の教育相談窓口についても概観する。 | | |

| 学生へのメッセージ/Message for students | 授業理解度の自己評価を導入している関係上、毎回レポートを提出して頂きます。ご意見・ご質問などはメールでお願いいたします。 |
|--------------------------------|--|
| 授業計画詳細 / Course Schedule | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
| 第1回 | 教育相談の歴史と意義 |
| 第2回 | 学校における教育相談体制と相談の進め方 |
| 第3回 | 児童・生徒の発達に応じた教育相談 |
| 第4回 | 児童・生徒が抱える心の問題の種類 |
| 第5回 | 心の問題を明らかにする方法(1) |
| 第6回 | 心の問題を明らかにする方法(2) |
| 第7回 | 来談者中心カウンセリングについて(1) |
| 第8回 | 来談者中心カウンセリングについて(2) |
| 第9回 | 行動療法・行動カウンセリングについて(1) |
| 第10回 | 行動療法・行動カウンセリングについて(2) |
| 第11回 | グループエンカウンターについて |
| 第12回 | 心理教育について |
| 第13回 | 保護者への教育相談 |
| 第14回 | 各種関係機関との連携 |
| 第15回 | 総括 |
| 第16回 | テスト |

| | | | |
|---|--|---|----------------------|
| 学期 / Semester | 2017年度 / Academic Year 1ク ォーター / First Quarter | 曜日・校時 / Day・Period | 月 / Mon 3, 月 / Mon 4 |
| 開講期間 / Class period | 2017/04/06 ~ 2017/05/22 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択 / elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20170587038102 | 科目番号 / Subject code | 05870381 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | GEMB 12351_005 | | |
| 授業科目名 / Subject | 教育と文化 (芸術) / Art | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 加納 暁子 / Kanou Akiko | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 加納 暁子 / Kanou Akiko | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 加納 暁子 / Kanou Akiko | | |
| 科目分類 / Class type | 全学モジュール 科目 | | |
| 対象年次 / Year | 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | [教育]音楽棟2F1番教室 | | |
| 対象学生 (クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | k-akiko nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください) | | |
| 担当教員研究室/Laboratory | 教育学部音楽棟3階 | | |
| 担当教員TEL/Tel | 095-819-2346 | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | メールで事前に問い合わせること。 | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives | 音楽を取り上げ、教育における芸術の役割について理解することを目標とする。教育において音楽 がどのように教えられているのか、音楽を通して人間は何を感じ、何を学ぶのかについて考察する 。 | | |
| 授業到達目標/Goal | 文化としての音楽、音楽と人間の関係、音楽教育について理解するとともに、音楽表現ができる。 (?、?、?) | | |
| 授業方法 (学習指導法) /Method | 中学校の音楽の教科書に掲載されている作曲家と作品、また掲載されていない作品についても、そ の特色や背景について学ぶ。そして、音楽が人間に与える影響についてディスカッションをする。 またアクティブラーニングとして器楽合奏を取り入れ、グループ活動におけるコミュニケーション 能力を高める。 | | |
| 授業内容/Class outline/Con | 第1回 ヴィヴァルディの協奏曲「四季」 第2回 J.S.バッハ「小フーガ」 第3回 モーツァルトについて 第4回 モーツァルトについて 第5回 ベートーヴェンの交響曲「運命」 第6回 シューベルト「魔王」 第7回 ショパンについて 第8回 国民楽派の作曲家について 第9回 舞台芸術「オペラ」 第10回 舞台芸術「オペラ」 第11回 舞台芸術「ミュージカル」 第12回 印象派の作曲家ドビュッシー 第13回 ディスカッション、器楽合奏 第14回 ディスカッション、器楽合奏 第15回 ディスカッション、器楽合奏 第16回 最終試験 | | |
| 事前、事後学習の内容/Preparation & Review | 授業内での小プリントの他、LACSの「掲示板」機能を用いて、事前、事後の学習やディスカッショ ンを深めていく。 | | |
| キーワード/Key word | 人間と音楽、音楽教育、表現 | | |
| 教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book | 参考書「西洋音楽の歴史」東京書籍ほか (授業内で指示する) | | |
| 成績評価の方法・基準等/Evaluation | 授業内における態度・貢献度30% 毎授業内での課題20% 最終試験50% | | |
| 受講要件 (履修条件) /Requirements | 音楽に興味、関心があること。 音楽活動の経験、音楽学習の経験があり、楽譜が読めることが望ましい。 | | |
| アクセシビリティ/Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考 (URL) /Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 授業に対して真面目に取り組むこと。 授業態度の悪い者は単位を認めない。 | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |

| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
|-----------------------------|-----------------|
| 第1回 | ヴィヴァルディの協奏曲「四季」 |
| 第2回 | J.S.バッハ「小フーガ」 |
| 第3回 | モーツァルトについて |
| 第4回 | モーツァルトについて |
| 第5回 | ベートーヴェンの交響曲「運命」 |
| 第6回 | シューベルト「魔王」 |
| 第7回 | ショパンについて |
| 第8回 | 国民楽派の作曲家 |
| 第9回 | 舞台芸術「オペラ」 |
| 第10回 | 舞台芸術「オペラ」 |
| 第11回 | 舞台芸術「ミュージカル」 |
| 第12回 | 印象派の作曲家ドビュッシー |
| 第13回 | ディスカッション、器楽合奏 |
| 第14回 | ディスカッション、器楽合奏 |
| 第15回 | ディスカッション、器楽合奏 |
| 第16回 | 最終試験 |

| | | | |
|---|---|---|----------------------|
| 学期 / Semester | 2017年度 / Academic Year 1ク ォーター / First Quarter | 曜日・校時 / Day・Period | 火 / Tue 3, 火 / Tue 4 |
| 開講期間 / Class period | 2017/04/06 ~ 2017/05/23 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択 / elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20170587047901 | 科目番号 / Subject code | 05870479 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | GEMB 12331_005 | | |
| 授業科目名 / Subject | 教育と文化 (日本語と社会) / Japanese and Society | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 前田 桂子 / Keiko Maeda, 加納 暁子 / Kanou Akiko, 大平 晃久 / Teruhisa Ohira | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 前田 桂子 / Keiko Maeda | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 前田 桂子 / Keiko Maeda, 大平 晃久 / Teruhisa Ohira | | |
| 科目分類 / Class type | 全学モジュール 科目 | | |
| 対象年次 / Year | 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | 教養教育A棟13 / RoomA-13 | | |
| 対象学生 (クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | 前田 kmaeda_nagasaki-u.ac.jp 大平 ohirat_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください) | | |
| 担当教員研究室/Laboratory | 前田 教育学部棟6階 624研究室 大平 教育学部棟6階 613研究室 | | |
| 担当教員TEL/Tel | 前田 2301 大平 2305 | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 前田、大平とも 火5 | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives | 前半では、現代において進みつつある文法変化や意味変化、方言と共通語など身近な例を取り上げ、日本語の諸問題について考察する。また後半では、言語と空間・地域にかかわるさまざまな問題を考察する。 | | |
| 授業到達目標/Goal | 身近な日本語の成り立ちについて理解を深め、その理由を自ら探求し、自分の言葉で説明する能力を身に付ける。また、人間の環境認知や地名について、多文化的な視点も加えつつ理解を深め自ら探求するとともに、自身の言葉で説明する能力を身に付ける。 | | |
| 授業方法 (学習指導法) /Method | 講義、グループワーク、小テスト この授業では、講義で基本的なことを学ぶとともにグループワークによる話し合いや、授業の最後にコメントを求めることがあります。 | | |
| 授業内容/Class outline/Con | 第1回から第8回までは前田が担当し、身近な日本語の中で、特に変化し続けている事象に焦点を当てます。第1回?第2回は、世界の中の日本語としての特徴を捉え、第3回?第6回は現代語の中で著しい変化の途上にある若者語の中から語彙や文法、敬語を取り上げ、第7回は地域のことは、方言の概要と長崎方言について考えます。第8回目に中間試験を行います。第9回からは大平が担当し、言語と空間・地域にかかわるさまざまな問題を考察します。具体的には以下の通りです。第9回 言語と世界、第10回 言語と空間参照枠、第11回 地名のアルケオロジー、第12回 地名のソシオロジー、第13回 歌枕・万葉地理?場所のイメージ(1)?、第14回 コンテンツ・ツーリズム?場所のイメージ(2)?、第15回 多言語・多文化化と言語景観、第16回 期末試験 | | |
| 事前、事後学習の内容/Preparation & Review | 授業の終了時にはその時間の振り返りをするとともに、次回の予習を求めます。 | | |
| キーワード/Key word | 現代語、文法、流行語、方言、環境認知、多文化教育 | | |
| 教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book | | | |
| 成績評価の方法・基準等/Evaluation | 授業中に課すレポート、小テスト、および期末試験 | | |
| 受講要件 (履修条件) /Requirements | | | |
| アクセシビリティ/Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考 (URL) /Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 身近な日本語の由来や特徴を知り、日常的に使用している自らの日本語を内省します。積極的な参加を求めます。 | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 世界の中の日本語 | | |
| 第2回 | 文字について? 漢字 | | |
| 第3回 | 文字について? 仮名 | | |

| | |
|------|-------------------|
| 第4回 | 語彙について? 和語、漢語、外来語 |
| 第5回 | 語彙について? 類義語、複合語 |
| 第6回 | 標準語、俗語、若者語 |
| 第7回 | らしさの表現 |
| 第8回 | 待遇表現の意義 |
| 第9回 | 変化する文法? |
| 第10回 | 変化する文法? |
| 第11回 | 国語史? 音韻の歴史 |
| 第12回 | 国語史? 文体の歴史 |
| 第13回 | 方言? |
| 第14回 | 方言? |
| 第15回 | 単語の意味変化 |
| 第16回 | 総括 |